

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 5月11日(金曜)午後3時現在

1. AUDUSD 来週の予想レンジ 0.9850~1.0200、 中期予想レンジ 0.9600~1.0300

1. 他の主要通貨と同じく、ギリシャが連立政権を確立できるか否かで、来週の相場の方向性が変わる可能性も考えられる
2. 資源国通貨として、円クロスの主要通貨として、リスク回避の流れに弱く、テクニカルでも反発の兆しは今のところ見られない
3. AUDJPY ロングポジションの調整も相当進んでいると思われ、新たな買い材料を見極める動きに入っている可能性も

AUDUSD・8時間チャート

AUDUSD・Daily チャート

AUDUSD・Weekly チャート



期間	25 指数移動平 均線	DiNapoliオシレータ・		スロー・		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタ ンス 1.	レジスタ ンス 2.
		プレディクター		ストキャスティック						
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
AUDUSD・8時間チャート	1.0168	1.0171	0.9946	21.84	26.21	↓	1.0019	0.9943	1.0081	1.0168
AUDUSD・Dailyチャート	1.0266	1.0369	0.9861	8.93	17.22	↓	0.9861	0.9845	1.0089	1.0266
AUDUSD・Weeklyチャート	1.0380	1.0861	0.9563	15.25	25.00	↓	0.9948	0.9563	1.0294	1.0380

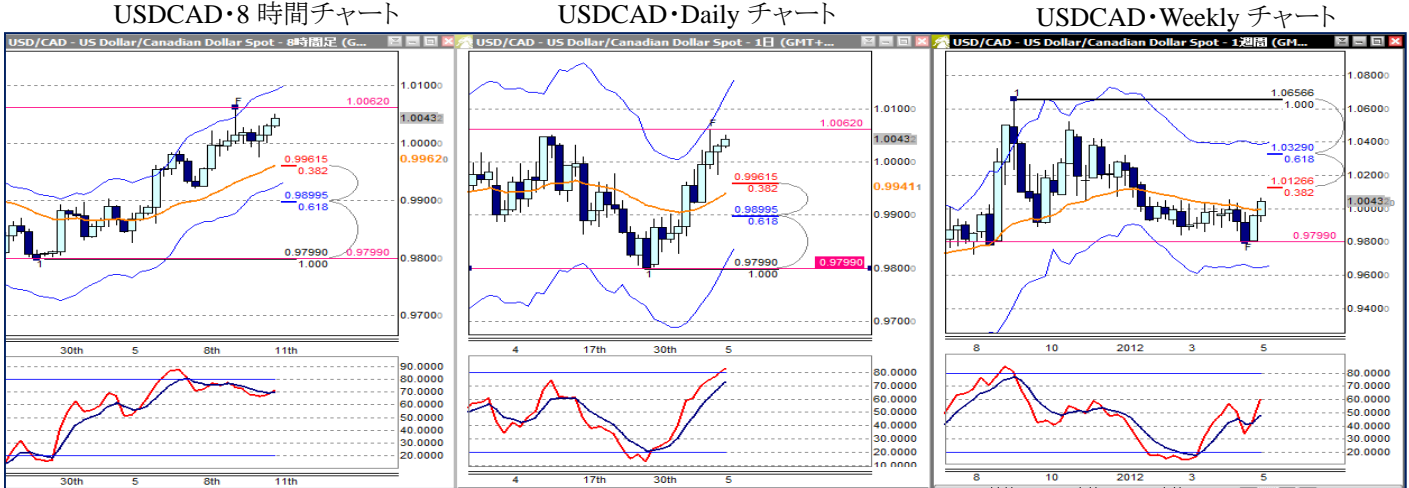
週初から10日終値までのレンジは、始値 1.0152 高値 1.0220 安値 1.0021 終値 1.0080  
 先週金曜日は、豪中銀の四半期金融政策報告で、成長率とインフレ見通しが下方修正され AUD 売り流れが強まり、米雇用統計で非農業部門雇用者数が 11.5 万人と予想 16 万人を大きく下回り、リスク資産売りの流れに AUDUSD は値を下げた。今週は、週末のギリシャ総選挙とフランス大統領選の影響を強く受け、イタリア・スペイン債が下落し、リスクオフの流れに 1.00 を狙える水準となる 1.0021 まで一時値を下げ売りの流れが続いている。7日=1.0152 で取引が始まり、ギリシャ・フランス選挙の影響を受けた売りに 1.0110 まで下落したが、欧州市場は比較的冷静で、先週末終値 1.0177 を超えたと買い戻しが強まり、1.0220 まで上昇した。8日=1.0196 で始まり、1.0218 を高値に、豪貿易収支の赤字額が拡大し売りが強まり、EURUSD の売りに続落したが、豪政府が予算案を発表し財政の黒字化を目指すことと発表したことで、買い戻し強まるが、リスクオフの流れに資源国通貨の上昇は鈍く、1.0088 まで値を下げた。9日=1.0120 で始まり、前日と同じく資源国の通貨売りが続き、ギラード豪首相が「豪ドル高が製造業を圧迫」、「連邦政府の予算黒字で金利変更の余地が与えられる」と発言したことで続落、リスクオフの流れに AUDJPY の損切りも膨らみ、1.0021 の今週安値を付け 1.00 パリティーを意識する動きも見られた。10日=強い豪雇用統計に上昇が始り、GBPUSD 主導のドル売りとリスクオンの流れに 1.0143 まで戻したが、米株が伸び悩み 1.01 を割り込み 1.0080 で終了した。

来週は、相場変動要因として、今週と同じく、オランダ仏次期大統領の動向と、ギリシャ連立政権の確立の有無が上げられる。特にギリシャ連立政府を確立することができるかが最重要となり、失敗すると 6 月に中旬に再選挙となり、再びリスク資産の売りが強まる可能性が残る、ユーロ離脱へ可能性へと発展すると、AUDUSD の売りがさらに強まる可能性も考えられる。しかし、市場参加者はある程度の最悪事態を意識したポジションを積み上げており、もし、連立政権の樹立が可能となれば、大きく値を戻す可能性も否定できない。引き続き結論が出るまでは、欧州の債券相場や株式の動向をみながら、リスクオフとリスクオンを材料に短期的な取引が続くことも予想される。AUDUSD はサイコロジカル・ポイントとなる 1.00 を維持して反発することができるか注目されるが、戻り局面では AUDJPY の売りが予想される半面、底値を確認できる材料があれば、ポジション調整も進んでいることも考えられ、値ごろ感の AUD 買いも予想される。豪州発の経済指標では、15日=豪中銀議事録、16日=ウェストバック消費者信頼感が上げられるが、16日=米国の FOMC 議事録もいづもながら相場への影響は大きい。

8時間チャートは、EMA が 1.0168 でこの水準を上限に売りの流れが続いている。ストキャスティクスは売られ過ぎゾーンで停滞しトレンドのある売りが続くのか、買いに変化するのか見極めが必要となっている。上値のポイントは 1.0081、1.0168、下値のポイントは 1.0019m、0.9943。  
 Daily チャートは、EMA が 1.0266 でこの水準を上限に売りの流れが続いている。ストキャスティクスは売りを継続しているが、売られ過ぎゾーンに入っている。上値のポイントは 1.0089、1.0266、下値のポイントは 0.9861、0.9845。  
 Weekly チャートは、EMA が 1.0380 でこの線を上限に売りの流れに入っている。ストキャスティクスは売りを継続しているが、売られ過ぎゾーンで停滞し売り圧力が続いていることを示している。上値のポイントは 1.0294、1.0380、下値のポイントは 0.9948、0.9563。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 5月11日(金曜)午後3時現在  
 2. USDCAD 来週の予想レンジ 0.9800~1.0100、 中期予想レンジ 0.9650~1.0300

1. 他の主要通貨と同じく、ギリシャが連立政権を確立できるか否かで、来週の相場の方向性が変わる可能性も考えられる
2. 0.9850~1.0050、0.9800~1.0100 のレンジで取引が続く可能性が考えられるが、これをブレイクした方向に相場が動く可能性も
3. 住宅関連の経済指標は強く、AAA 格で、中銀の利上げ可能性がある通貨だが、リスク回避の流れに弱く、EUR 相場の動向を注目



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ プレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
USDCAD・8時間チャート	0.9962	1.0099	0.9931	71.27	70.17	↑	0.9962	0.9931	1.0062	1.0099
USDCAD・Dailyチャート	0.9941	1.0154	0.9836	83.25	72.69	↑	0.9962	0.9941	1.0062	1.0154
USDCAD・Weeklyチャート	0.9998	1.0396	0.9653	59.87	48.04	↑	0.9799	0.9653	1.0126	1.0329

週初から10日終値までのレンジは、始値0.9955 高値1.0030 安値0.9926 終値1.0019  
 先週金曜日は、注目の米雇用統計で、非農業部門雇用者数が11.5万人と予想16万人を大きく下回り、0.98台から上昇し0.9956で週を終えた。今週は他の主要通貨と同じく、週末のギリシャ総選挙とフランス大統領選の影響を大きく受け、リスク資産売りの流れに、住宅関連の強い数字や、政策金利の引き下げ圧力のプラス材料は無視され、資源国通貨売りの中で1.0062まで上昇し、USD買いが続いた。7日=週初は0.9955で始まり、ギリシャ・フランス選挙の結果を受けたドル買いの流れに、一時0.9986まで上昇したが、欧州市場は比較的冷静で、強いカナダの住宅建設許可に0.9926まで下落した。8日=0.9929で始まり、ギリシャ連立政権の確立に向けた動きも不透明で、ギリシャ急進派左派連合党首が、債券のモトリアルを求めるとの発言に、リスクオフの流れが強まり、強いカナダ住宅着工件数にもかかわらず、1.0022まで上昇した。9日=0.9985で始まり、スペインの銀行バンキアの部分的国有化の報道や、ギリシャ救済資金の支払延期協議との報道にリスクオフの流れが続き1.0062までドル買いが強まった。10日=1.0024で始まり、スペインのバンキア国有化が決定され、EFSFがギリシャ融資の継続を承認、欧州債や欧州株が上昇、GBPUSDの買いがリードするドル売りに0.9962まで下落した、米国株の買いも続かず、結局は1.0019で終了した。

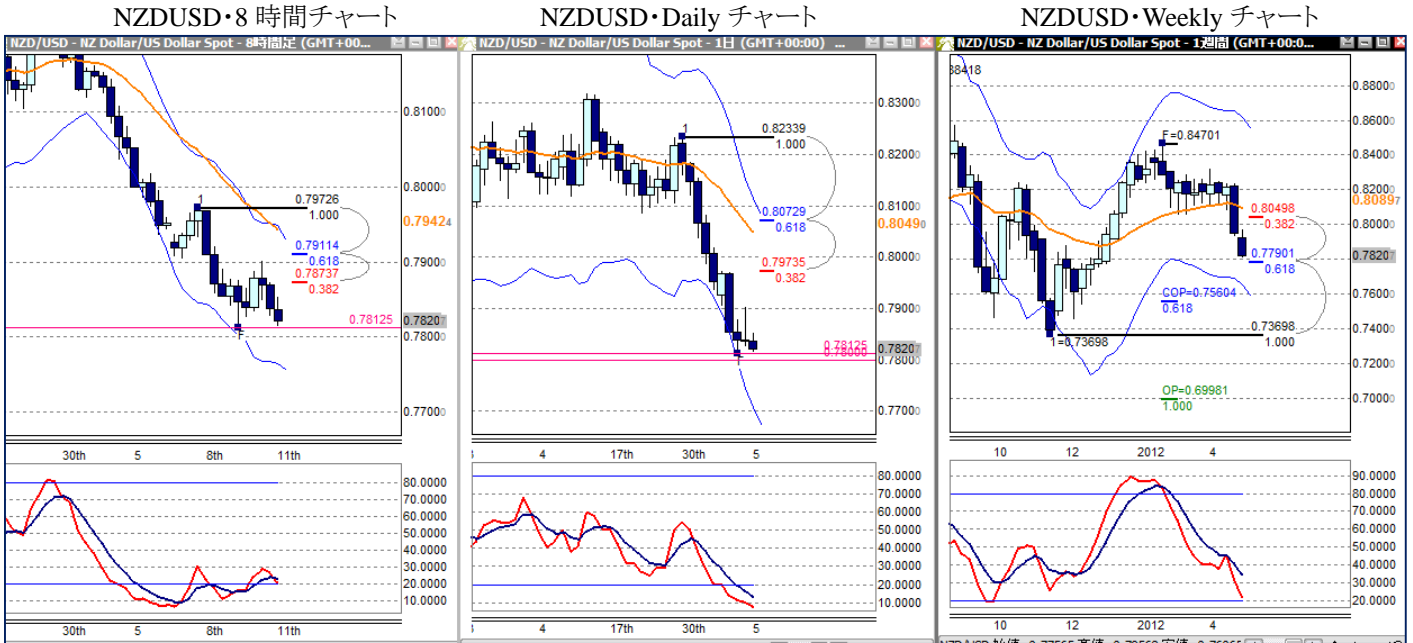
今週は、取引レンジを考えると、引き続き0.9800~1.100の広いコアレンジ内での推移が予想され、大きな材料がなければ、0.9850~1.0050の水準に収まる可能性がある。相場変動要因として、他の主要通貨と同じく、オランド仏次期大統領の動向とギリシャ連立政権の確立の有無が注目される。失敗すると6月に再選挙となり、再びリスク資産の売りが強まる可能性が残り、ユーロ離脱へ可能性へと発展すると、安全資産のドル買いが強まる可能性もあり、レンジの上限を試す可能性も考えられる。逆に、ギリシャの連立政権が確立できれば、リスクオンへの流れへ変化し、強い住宅関連の指標と、政策金利の引き上げ予想もフォローし、レンジの下限を試す可能性も出てくる。カナダ発の経済指標では、特に重要な発表も少なく、16日=製造業売上高、17日=卸売売上高、消費者物価指数が注目される。

8時間チャートは、EMAが0.9962でこの水準を下限に買いの流れが続いている。ストキャスティクスは売りから買いへ変化し、買いの流れが続いている。上値のポイントは1.0062、1.0099、下値のポイントは0.9962、0.9931。  
 Dailyチャートは、EMAが0.9941でこの水準を下限に買いの流れが続いている。ストキャスティクスは買いを継続し、買われ過ぎゾーンに近いが直ぐに反転する可能性も見られないが、前回の高値1.0062を超えられないと時間の経過とともに売りへ変化する可能性があるが、超えてくるとさらなる買いが強まる可能性も考えられる。  
 Weeklyチャートは、EMAが0.9998で今水準を現在超えて買いの流れに入っているが、今日の終値ベースを注目したい。ストキャスティクスは売りから再び買いに変化している。上値のポイントは1.0126、1.0329、下値のポイントは0.9799、0.9653。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 5月11日(金曜)午後3時現

3. NZDUSD 来週の予想レンジ 0.7700~0.7950、中期予想レンジ 0.7650~0.8050

1. 他の主要通貨と同じく、ギリシャが連立政権を確立できるか否かで、来週の相場の方向性が変わる可能性も考えられる
2. AUDUSD 相場の連動性が高く、最近では主要国通貨では NZDUSD の下落が目立ち、テクニカルでも買いへの変化は見られない
3. 0.8050~0.8450 の 400 ポイントレンジの下限をブレイクしたことで、次の 0.7650 が下値の重要なポイントとなりやすい



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ プレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
NZDUSD・8時間チャート	0.7942	0.7931	0.7756	18.83	22.10	↓	0.7813	0.7756	0.7874	0.7911
NZDUSD・Dailyチャート	0.8048	0.8082	0.7674	6.62	12.88	↓	0.7800	0.7674	0.7900	0.7974
NZDUSD・Weeklyチャート	0.8089	0.8554	0.7592	21.07	34.23	↓	0.7560	0.7370	0.8050	0.8089

週初から10日終値までのレンジは、始値0.7926 高値0.7973 安値0.7813 終値0.7851  
先週木曜日に発表された、弱いNZ第1四半期失業率から、NZDUSDの売りが強まり0.8100を割り込み、先週金曜日の米雇用統計で非農業部門の雇用者が予想を下回ると、0.8000を割り込み、売りの流れが続き0.9752で終了した。今週は、週末のギリシャ総選挙とフランス大統領選の影響を大きく受け、リスク資産売りの流れに続落、9日には一時0.7813まで値を下げたが、イタリア・スペイン債の買い戻しや、欧米株の上昇に買い戻しも見られたが、ギリシャ連立政権の確立の見通しが立たず、大幅な巻き戻しには至らず、売りの流れが続いている。7日=0.7926で始まり、ギリシャ総選挙とフランス大統領選の影響に、アジア株は弱く0.7906を安値に、欧州市場は比較的冷静で、前週終値0.7952を超え0.7968まで上昇した。8日=AUDUSDの売りの影響を受け、ギリシャ急進派左派連合党首が、債券のモトリアルを求めるとの発言に、リスクオフの流れが強まり、0.7858まで続落した。9日=0.7876で始まり、0.7842まで続落、ボラードNZ中銀総裁が「NZドルは、ほぼファンダメンタルズに沿った推移」と発言し、スペインの銀行バンキアの部分的国有化の報道や、ギリシャ救済資金の延期協議との報道にリスクオフの流れが続き、欧米市場では0.7813まで下落した。10日=0.7839で始まり、強い豪雇用統計を受けたAUDUSDの買いの流れを受け上昇、欧米市場でもリスクオンの流れにリスク資産買いが続き、0.7902まで値を戻したが続き、0.7851で終了した。

来週は、0.7800の大台を意識しながら、この水準を維持できれば、0.7800~0.8000のレンジに逆戻りする可能性も出てくる。しかし、相場の変動要因となっている、オランダ仏次期大統領の動向と、ギリシャ連立政権の確立の有無は、今後の相場にとって非常に重要となっている。上位2党が連立に失敗、第3党のベネゼロス全ギリシャ社会主義運動党首が、連立政権を確立できるかが焦点で、市場参加者多くは6月の再選挙の可能性を考えているだけに、連立政権が確立できれば、サプライズで、4月30日から続いたNZDUSDの下落基調を変える減努力なる可能性もあるが、逆に失敗し、再選挙ともなればリスクオフの流れが続き、NZDUSDの売り材料になる可能性もある。NZ発の経済指標では、14日=小売売上高、17日=生産者物価、消費者信頼感指数の発表が予定されている。

8時間チャートは、EMAが0.7942でこの線を上限に売りの流れが続いている。ストキャスティクスも売ら過ぎゾーンで停滞し、買いのサインも有効にならず、再び売りを示している。上値のポイントは0.7874、0.7911、下値のポイントは0.7874、0.7911。  
Dailyチャートは、EMAが0.8048でこの線を上限に売りの流れが続いている。ストキャスティクスは売りを継続しているが、売られ過ぎゾーンで停滞している。上値のポイントは0.7900、0.7974、下値のポイントは0.7800、0.7674。  
Weeklyチャートは、EMAが0.8089でこの線を上限に売りが続き、ストキャスティクスも買いがリジェクトされ売りを継続している。長いレンジ相場の0.8050~0.8450の400ポイントレンジの下限をブレイクしたことで、次の下値のターゲットは計算上で0.7650となる。上値のポイントは0.8050、0.8089、下値のポイントは0.7560、0.7370。

USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス。為替レート・金・原油価格は GFT 社の取引レート。本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com、ロイター社、ブルームバーグ社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com、ブルームバーグ社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたしますが、損失ももたします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp)

© 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011